

かみきた楽農通信

第62号
令和5年 5月 2日発行

上北地域県民局 地域農林水産部

○ 農業普及振興室
青森県十和田市西十二番町20-12
TEL：0176-23-4281

○ 農業普及振興室三沢分室
青森県三沢市東岡三沢1-1-7
TEL：0176-53-2498

ホームページ



上北農業普及振興室

で検索



御挨拶「令和5年度のスタートにあたって」 ** 農業普及振興室長 長内 忠仁 **

上北地域は本県農業産出額の約3割を占める農業地帯で、農業経営士、青年農業士、ViC・ウーマン、若手農業者などの意欲的な担い手が多数活躍しています。

一方、高齢化等に伴う労働力不足や肥料・家畜飼料などの原材料価格の高騰、コロナ禍がもたらした生活様式・消費形態の変化など新たな課題に直面しています。

このような中で、農業普及振興室では、地域の農業を一層発展させるため、労働力不足の克服と安全・安心・高品質な農産物の生産、農林水産業の成長と共生社会を支える人財の育成などの取組を通じて、市町村やJAなど関係機関と一体となって農業者の経営発展を支援して参りますので、御支援・御協力をよろしくお願いします。

インボイス制度に関する改正について

令和5年10月1日からインボイス制度が始まります。

インボイス制度とは、売手が買手に対して、正確な適用税や消費税額等を伝えるものです。買手は、仕入税額控除の適用のために、原則として売手から交付を受けたインボイス(適格請求書)を保存する必要があります。

インボイスを発行するためには、インボイス発行事業者の登録申請が必要です。登録を受けるかどうかは任意ですので、登録申請を検討されている方は、右のQRコードを参照してください。



春の農作業安全運動展開中

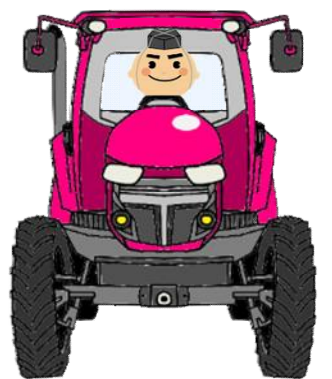
実施期間：令和5年4月1日～5月31日

～STOP！農作業事故～
焦らず、急がず、慎重に。

春の農繁期を迎えるに当たり、農業機械等による事故を防止するため、県では、「春の農作業安全運動」を展開しています。家族や地域みんなの声掛けで、農作業事故ゼロを目指しましょう！

～農作業安全のポイント～

- ①慣れた作業でも油断せず、安全を確認して行いましょう。
- ②必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。
- ③自分は「大丈夫」と過信せず、無理のない作業を行いましょう。
- ④1人での作業は避け、やむを得ず1人で行う場合は、家族に作業場所、帰宅時間を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- ⑤家族や周りの人など、地域全体で注意を呼びかけ合いましょう！



令和5年度 上北地域県民局地域農林水産部

農業普及振興室 職員紹介



長内 忠仁

○ 農業普及振興室
TEL: 0176-23-4281
FAX: 0176-25-7242

○ 三沢分室
TEL: 0176-53-2498
FAX: 0176-53-8539

企画班



副室長 佐々木和也
(班の総括)



主幹 川島章
(経営所得安定対策の推進)



主幹 斉藤聖子
(農産物の流通の推進)



主査 鈴木聡
(農業災害の減否)



主任専門員 榎山朋承
(農地利用効率化等支援交付金)



主事 吉田悠理子
(農業委員会交付金)

経営・担い手班



副室長 ムン澤一雄
(班の総括)



主幹 北野和裕
(制度資金・農業士会)



主幹 片山伸也
(新規就農・経営改善指導)



主幹 白根祐佳
(産直・女性起業)



主幹 木下肖
(女性・IT・育成・地域課題)



技師 若山彩音
(農村青少年の育成)



技師 藤山若葉
(認定農業者の育成)

作物・畜産班



副室長 伊藤一夫
(班の総括)



主査 鈴木健司
(水産)



主査 加賀幾子
(畜産・畜産)



主任専門員 木田富広
(水産・水産)



技師 立崎綾乃
(水産)



技師 今奈月
(水産・水産)



技師 西村謙士
(畜産・肉牛)

園芸班



副室長 西館勝富
(班の総括)



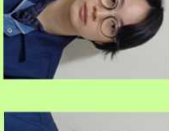
主幹 成田治
(野菜)



主幹 坂川雄亮
(野菜・花き)



主幹 専門員 及川健
(野菜)



技師 雪森桃花
(野菜)



技師 中西幸玖
(野菜・野菜等産地力強化支援事業)



技師 町田彩花
(野菜)



技師 豊西蓮基
(野菜)

三沢分室



副室長 今川貴
(分室の総括)



主査 松本佑紀
(野菜)



主任専門員 小野嘉久
(水産・水産)



主任専門員 山田隆
(野菜)



非常勤事務員 吉田孝子



技師 中島優太
(水産・水産)

令和5年度 県民局事業の紹介

次代に引き継ぐ上北地域集落営農活性化事業(R5～R6)

管内の集落営農組織は、構成員の高齢化や担い手不足に加え、大規模経営体への農地移転が急激に進行し、米価下落と相まって収益が急速に悪化し、5年間で4組織が解散・休止しています。

そこで、集落営農組織を活性化させるため、中心となる集落営農組織の育成と横の連携を強化し、収益性改善に向けたモデル構築及び次世代の担い手育成に取り組むこととしています。

今後、2か年の取組によって、上北地域の安定的かつ継続的な地域ぐるみの農業の実現を目指します。



↑
大豆は種作業

持続可能な中部上北スタイル水田農業推進事業(R5～R7)

水稻、野菜、畜産などの複合経営が盛んな中部上北地域(七戸町、東北町)の土場川地区では、ほ場整備事業で区画拡大や排水対策を実施した水田において、高収益作物の導入が計画されていますが、思うように進んでいない状況です。

そこで、地域の担い手農家や関係機関による研究会や実証ほを設置し、整備されたほ場で作付けが可能な作物を見極めていくとともに、スマート農業技術の導入による省力化など、中部上北地域に合った水田農業の確立を目指します。



↑
にんにくの生産ほ場

クロルピクリン剤をほ場で使う際は必ず被覆してください！

クロルピクリン剤は、土壌中の病害虫や線虫の防除に優れた効果がありますが、本剤は注入した薬液が土壌中でガス化して効果を発揮するため、農林水産省令で被覆を要する農薬として定められています。

万が一ガスが漏れ出ると、使用した本人のみならず周辺住民の健康に被害を及ぼす危険性がありますので、クロルピクリン剤を使用する際は、次の事項を必ず守りましょう。

- 土壌くん蒸用防護マスク等の保護具を着用する
- 施用後すぐに厚さ0.03mm以上のシートや難透過性資材で被覆する
- 人家や畜舎等に近接する農地での使用を避ける
- 農地近郊の低位置に人家や畜舎等がある場合は使用しない(ガスは空気より重いので、低地に流れ込みます)
- 近くに住宅や畜舎がある場合は、周辺住民に対して使用目的、使用日時等を事前に周知する
- 使用済みの空き缶等は、周囲に影響を及ぼさない場所で残液、残臭処理後、産業廃棄物として処分する



上北地域の新たなリーダーを紹介します

農業経営士、青年農業士

県では、優れた農業経営を行い、地域のリーダーとして活躍している農業者を「青森県農業経営士」、将来の地域農業の推進者として期待される農業者を「青森県青年農業士」として認定しています。

令和5年度現在、上北管内では38名の「農業経営士」と36名の「青年農業士」が認定されており、昨年度、新たに5名が認定されました。

ViC・ウーマン

県では、特色ある地域農林水産業や住みやすい社会づくりに取り組み、優れた地域活動の実績を持つ農山漁村女性リーダーを、「ViC・ウーマン(Village Conductor of Woman)」として認定しています。

令和5年度現在、上北管内では49名のViC・ウーマンが認定されており、昨年度、新たに1名の方が認定されました。

農業経営士



竹内 圭史氏
(横浜町)



田中 正幸氏
(おいらせ町)



仁和 千春氏
(十和田市)



乙部 暁氏
(東北町)



石久保 慶太氏
(六ヶ所村)



久田 早百合氏
(六戸町)

青年農業士

ViC・ウーマン

令和4年度における各種農業表彰

黄綬褒章(業務精励畜産業)受賞 十和田市 漆畑 善次郎 氏 (漆畑ファーム株式会社 代表取締役)

漆畑氏は、十和田地域の黒毛和種の普及拡大や肉質向上に取り組むとともに、農地の保全や粗飼料自給率の向上に貢献してきました。

また、加工・販売まで一貫して自社の経営内で行い、美味しく安全・安心な牛肉の提供にも取り組むなど功績が広く認められ、黄綬褒章(業務精励畜産業)を受章されました。



「農山漁村女性活躍表彰」農林水産大臣賞受賞 十和田市 野崎さち子 氏

野崎氏は、集落の女性達と「一本松ひまわり生活改善グループ」を結成し、自宅敷地内の加工施設「ひまわり工房」で、米飯加工に取組むほか、地元小学生等への食育活動を展開してきました。

また、農業委員として家族経営協定の普及にも取り組んできています。

さらに、高齢者サロンやコミュニティ食堂の開設など、地域共生社会を支える共助の取組が高く評価され、女性地域社会参画部門(個人)において、最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞されました。



↑
コミュニティ食堂「食堂一本松」